

2011 年度 介護現場での働き、その機会のインセンティブとなる資格認定制度のしくみづくりの調査研究

(街かどケア滋賀ネット ダイトロン福祉財団第 10 回障害者福祉助成)

「障害者の働きを軸とした地域づくりモデル事業」でアンケート調査等を行ったので、事業成果の検証を行うことが出来たが、今後の可能性やしくみづくりの検討まで至らなかった。そこでダイトロン福祉財団の助成を受けて、「介護現場等での働き、その機会のインセンティブとなる資格認定制度のしくみづくりの調査研究」として、さらに研究を深めていく事になった。

事業内容は

- ①介護事業所に関する既存調査の補足(追加調査・ヒアリング)
- ②介護事業所への調査の分析・まとめ(効果・課題・対応策の検討)
- ③保育所への調査(ヒアリング・分析)
- ④資格・認定制度のあり方の検討(検討・まとめ・提言)

である。

介護事業所へのヒアリングで、障害のある人の仕事内容に関しては清掃などの間接業務が主であったが、どの事業所でもおとしよりとの接点があった。大規模事業所は小規模事業所に比べて担ってもらえる仕事(ルーチンワーク)が多いという声もあり、今後の雇用の拡大が期待出来ることがわかった。

保育所へのヒアリングでは、園児はおとしよりと違い行動が早くて範囲が広く、また即時に判断が必要な業務が多いことから保育補助的な直接業務は難しいことがわかった。だが、洗濯、清掃、厨房等の間接業務は十分可能であり、雇用拡大の希望が持てる調査となった。